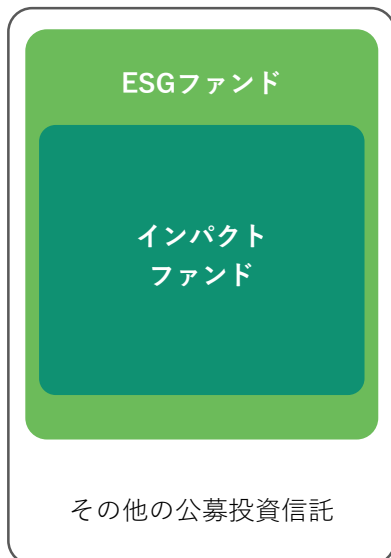


## 「ESGファンド」および「インパクトファンド」について

当社では、当社が設定・運用を行う公募投資信託のうち、「ESGファンド」、「インパクトファンド」と位置付けるファンドの要件を明確にしております。

### ■ 当社の公募投資信託の分類とESGファンド／インパクトファンドの特性



#### ESGファンド

- 経済的なリターンを追求するとともに、投資対象や運用プロセスにおいて、とりわけESGを考慮するファンドです。

#### インパクトファンド

- ESGファンドのうち、社会や環境に関する課題を特定し、その課題に対しインパクト\*を生み出す意図（インテンション）を持つファンドです。
- 創出されたインパクトについては、定量面、定性面の両面から評価を行い、定期的に関示を行います。

\* 社会課題や環境問題の解決に貢献するなど、社会に与える良い影響をいいます。

※ ESGファンド（インパクトファンドを含みます。）は、金融庁の「金融商品取引業者等向けの総合的な監督指針」の「ESG投信」に含まれます。

### ■ 「ESGファンド」の投資対象・運用手法別の要件

#### ● 株式・リートのインデックス運用

- ① 指数メソドロジーが、当社のESGの方針や考え方と整合的であること
- ② 当社が、ESG評価機関への継続的なモニタリングや対話・エンゲージメントを実施すること
- ③ ESGを考慮した投資の目標比率は100%であること

- **債券のインデックス運用・アクティブ運用**

- ① 公的機関によりグリーン・ソーシャル・サステイナブル等のラベルが付与された、環境・社会的な目的のために発行される債券（SDGs債券）を主たる投資対象とすること
- ② 当社が上記の投資対象債券の用途を継続的にモニタリングすること
- ③ ESGを考慮した投資（SDGs債券への投資）の目標比率は90%超であること

- **株式・リートのアクティブ運用**

- ① 銘柄の投資判断プロセスの中に、継続的かつ具体的に、環境や社会的課題（ES）にかかる観点が組み込まれていること
- ② 上記のESを考慮したプロセスが、パフォーマンスに与える影響が相応に大きいものである（投資対象選定の主要な要素である）と判断できること
- ③ ESGを考慮した銘柄の目標投資比率は100%であること

- **バランス運用**

- ① 当社が自ら運用するESGファンドを主要投資対象とすること
- ② ESGファンドの目標投資比率は80%超であること

「ESGファンド」「インパクトファンド」の定義や認定された投資信託のリストは、2021年10月から公表を行っています。最新の「ESGファンド」「インパクトファンド」のリストは以下URLをご覧ください。

[https://www.resona-am.co.jp/oshirase/2023/pdf/230309\\_o.pdf](https://www.resona-am.co.jp/oshirase/2023/pdf/230309_o.pdf)

以上